

さろん便第10号



サロン紹介 ふれあい広場 (週1)

「ふれあい広場」はコミュニティ安倉の主催で毎週土曜日の午後に安倉会館で開かれているサロンです。立ち上げのきっかけは平成15年ごろに「地域で集える場を作りたい」という民生委員の発案によるもので、今では老人会、婦人会の協力も得ながら運営がなされています。

サロンの運営は月間のスケジュールとして絵手紙、手芸・囲碁、健康体操、茶道（希望者のみ）、手芸とおしゃべりなどを行っておられる他、毎年、会館の近所にある民家型デイサービスセンター「安倉の家」に手芸用品や手作り小物などをバザー物品としてサロンで作成し、寄付をされています。

取材当日は歳末助けあい愛の持ち寄り運動の助成金を活用したふれあい食事会がサロンの開催日に合わせて催されていました。スタッフも含めて約45名ほどの方がおられ、会場は熱気に包まれていました。

この食事会をきっかけにサロンが実施されていることを知り、今後の参加をお約束されている方もおられたそうです。安倉地域は広いのですが、みなさん会場まで各自、自転車、徒歩で集まり参加をされています。

食後は手作りのカードゲームでにぎやかになり、消費生活センターのお話や寸劇、クイズもあり、笑いも飛び交う中、時間があっという間に過ぎていきました。

今後も「何でもふれあう機会を持てるように工夫していきたい」というお話もあり、これからも地域の方が気軽に集える場として充実してほしいと思います。



ふれあい広場

●毎週土曜日 13:30~15:30

●安倉会館

●参加費100円

サロン紹介 くるみサロン (月1)

宝塚市の南部に位置する高司地区は昔から住んでいる人が多く、気心が知れたご近所づきあいも多い地域です。サロンが出来たきっかけは阪神大震災でした。震災当時、高司地区も被災した場所が多く、その復旧に負われる中で閉じこもりがちな独居高齢者が多くなっていました。それを知った高司小学校区まちづくり協議会福祉部は少しでも外に出て元気になってほしいという思いから「くるみサロン」を立ち上げました。

スタッフは50代から70代と幅広い年齢層で運営し、参加者は毎回26名ほどにもなります。遠くからは20分もかけて歩いて来られる参加者もいるとのこと。

活動はスタッフが考え、体操、ゲーム、工作、介護教室などを中心に、お茶を飲みながら参加者やスタッフが和気あいあいとおしゃべりをされています。健康センターの保健師さんが来られた時は健康相談にも応じて頂いています。

取材当日は新春会で、ぜんざいがふるまわれていました。レクリエーションではスタッフの津國さんによる軽快なおしゃべりもあり、参加者の皆さんはカードならべに夢中で、中には顔を真っ赤にして取り組んでおられる方もいました。

参加者の方にお話を聞くと「この月一回のサロンを何時も待ち遠しく思っています」と皆さんおっしゃっていました。サロン運営のコツを代表である山脇さんにお聞きすると「自治会、その他の諸団体との連携をとり一人でも多くの方がサロンに来て頂けるよう配慮し、また、なんでも話し合えるスタッフの良い関係が参加される方にも伝わり、どんどん楽しい雰囲気が広がってきているのではと思います」とのことです。

名前にある「くるみ」のようにますます高司に根付くサロンになるのではないのでしょうか。



くるみサロン ●毎月第3金曜 13:30~15:00 ●高司会館 ●参加費100円

ご存知ですか？ ふれあいいきいきサロン向け保険

◆どんな保険なの？

サロン活動者の落ち度により参加者の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の損害賠償責任を負った場合の保険です。建物（サロン会場）の設備や、備品については対象外です。

◆月1回のサロンでも掛けることができるの？

実施回数に関係なく、サロン活動であればご加入いただけます。

◆保険期間・保険料はいくら？

保険期間は1年で、保険料は5000円です。詳しくはさろん便に同封の要綱をご確認ください！

【お問合せ】株式会社 兵庫保険福祉サービス

電話：078-735-0166 月～金 9:15～17:00

サロン紹介 長尾台くつろぎサロン (月1)

阪神間の景色が一望できる長尾台、その一角にある自治会館で長尾台くつろぎサロンは活動しています。

ボランティアの方は開始の1時間前から会館に入り、準備に取り掛かります。参加者はボランティアも含め、いつも20人を超える人で賑わっています。サロンの活動内容は講師の方を招いた講演の他、参加者やスタッフが講師となって催されるものも数多くあります。そのレパートリーも手芸や琴、ハーブなど多岐にわたり、ただサロンにお客さんとして来るだけではない関係性がそこにはありました。

また、サロンの運営にあたっては、参加者・ボランティアによる手作りお菓子の持ち込みや参加者からのカンパ、各種助成金を活用している他、年に1回はフリーマーケットを開催し、運営費の確保に努めています。

このフリーマーケットでは単に運営費を補うということだけでなく、そこに来られる人同士の交流の促進や新たにサロンに来られる方

の発掘にもつながっています。

サロンの立ち上げは約10年前、当時長尾台に気軽に住民が集まるところがなかった現状に代表の加藤民生委員が様々な人に声をかけて、始めたのがきっかけです。今では自治会長をはじめ、自治会からもボランティアに来るなど地域になくてはならない存在となっています。

加藤民生委員はこれからのサロンの展開について、「小学校が近くにあるため、子どもも気軽に訪れるような仕掛けを子ども館も巻き込んでしていきたいです。また、坂が多い地域でサロンに来たくても来れない方がいるため、移送についても今後検討していきたいです。」

参加者には隣接の川西や伊丹からも参加される方もいらっしゃるそうです。誰でも受け入れる、そんなボランティアの姿勢に参加者もここで豊かな時間を過ごすことが出来ているのではないのでしょうか。



長尾台くつろぎサロン ●毎月第3木曜 12:30~15:00 ●長尾台自治会館

平成27年度ふれあいきいきサロン支援事業 助成のご案内

宝塚市社会福祉協議会では週1回以上活動されているサロンを対象として、立ち上げのための備品費(初年度のみ)、活動経費(立ち上げから3年間)や会場費などの助成事業を行っております。助成の手引きや申込書などは5月末までに各グループへご案内をする予定をしております。申込書のご提出やお問い合わせは社会福祉協議会の各地区センターにお願いいたします。

助成申込締切:平成27年7月31日(金)

ふれあいいきいきサロン・ミニデイサービス交流会 2014を実施しました！

去る12月8日にサロン交流会を宝塚市総合福祉センター大ホールにて行い、60名を超える活動者や関係機関の方々にお集まりいただきました。

講演会では「介護保険制度改正とサロン・ミニデイのこれから」と題し、同志社大学 永田祐准教授から、国の制度改正に関する動きをご説明いただくとともに、介護保険の改正によってミニデイやサロンに今後、どのような期待がされているのかということについてお話をいただきました。また行政・社協も交えての質疑応答では活発な意見が多数出されました。

また、今年は市内サロンの活動発表があり、第3地区で活動されている「かがやきサロン」からはコーラス、第4地区「ふれあい広場」からは日本舞踊の発表があり会場は大いに盛り上がりました。

しかし、講演・活動発表の時間が延びてしまったため、参加者同士の交流にあまり時間が割けなかったことをこの場を借りてお詫び申し上げます。このような反省点を踏まえ、来年度も皆様にとって有意義な交流会に出来るよう努めていきますので、またのお越しをお待ちしています。



<サロン簡単レシピコーナー> ♪いちご大福の作り方♪

【材料(10人分)】

- 白玉 100g
- 砂糖 60g
- 水 150cc
- こしあん 200g
- いちご 10個
- 片栗粉 適宜



【作り方】

1. いちごを洗い水気をよくふき、へたを切る。
2. あんを10等分する(固さは火を入れて調節する)
3. ②のあんが冷めてからいちごを包む
4. 白玉粉を粉状にしておく。(すりこぎなどを使って)
5. 耐熱性の容器に白玉粉と水を入れ、木じゃくでしっかりとまぜる
6. 混ざったら、砂糖を混ぜ入れ、ラップをかけて電子レンジで2分加熱し、取り出してムラにならないようによく混ぜ、ラップして2分加熱する。もう一度よく混ぜ、同様に電子レンジでラップして1分加熱し、全体ムラなく餅状になったら片栗粉を全体に広げた台にタネをおき、10等分にちぎり取る。
7. ⑤の生地をのばして③のあん玉を包み込む。 **できあがり！**

<発 行>サロン支援プロジェクトチーム

<連絡先>宝塚市社会福祉協議会 サロン支援プロジェクトチーム事務局

住所:宝塚市安倉西2-1-1 電話:(0797)86-5000